

教育委員会委員との意見交換会

開催年月日： 令和6年 3月15日（金）
 開催場所： 委員会室
 出席議員： 中村委員長・中田・鈴木・早苗・立川・堀切・小笠原・伊藤・梶澤議長
 参加者： 程野教育長・鳥本職務代理者・福井委員・松久委員・土井委員
（合計：5 人）
 記録者名： 中田

テーマ	意見交換内容	対応
小中一貫教育	【教育長より小中一貫教育の取組について】 ◎コミュニティ・スクールを基盤として、同一中学校区の小中学校を一つの学園と捉え、義務教育9年間の一貫性のある教育を推進。9年間でギャップを埋めながら子どもを育む。 ◎4年目を迎える探求、提案、発信型の「めむろ未来学」の推進が軸。 例) 上美生中の防災訓練～学校の求めに地域が応える。 例) 教員の交流。 例) 芽室中学校生によるメニュー開発、販売。修学旅行での町のPRなど。	/
	【意見交換から】 ・子どもの出生数が100人をきっており、子どもの施策に注力しなければならない。	町として医療費の無償化等、取り組んでいますが、今後も課題意識を持ち調査活動に臨みます。
	・小中一貫教育や部活動の地域移行など、言葉がひとり歩きしていないか。手法が目的にならないように。	基本方針が策定された段階です。抽出事業でもあり引き続き調査に取り組みます。
	・一般保護者意識の理解が浸透しているか、意識調査アンケートもよいのではないか。	委員会として意見聴取に取り組んでまいります。
	・ソフト面としての小中一貫教育、将来的にはハード面のマッチングが必要。	ハード面の課題も視野に今後の調査に取り組めます。
	・早来学園はタイミングがよかった。子どもを第一に考え芽室らしいものにしてほしい。	委員会として抽出事業の目標に向け調査研究に取り組んでまいります。
	限 られた時間での意見交換会であったが、大変有意義であった。	